

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871400259
法人名	有限会社 和家
事業所名	グループホーム 蘭
所在地	愛媛県西予市宇和町河内 1 6 6 - 1
自己評価作成日	平成27年11月28日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成27年12月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者さんが、ご家族や地域の方たちとの繋がりを大切にしながら自分らしく暮らしていただけるように、可能な限り、その人の力を発揮できる場面をより多く持てるよう職員が一丸となって頑張っております。特に、地域の行事には参加させていただき、保育所や小学校との交流を大切にしております。また、天気の良い日には畑や花の手入れ、散歩がてらに、近くのスーパーへ買物にも出かけるなどして楽しみや役割を見つけながら、家庭的な雰囲気の中で、その人がその人らしく「尊厳のある生活」を、ゆったりと本人のペースで過ごせるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

自立度の高い利用者が多く、職員は見守りや場面作りして、利用者をご自分で行うことをサポートしている。家事は、2種類を提案してどちらを行うか選んでもらうこともある。男性利用者と職員で「男子会」を作っており、年間を通して皆を楽しませるような企画をしている。初夏には蛍をとってきて交流ルームに放したり、クリスマスにはサンタクロースやトナカイ役になったり、ホワイトデーにはカレーを作って振舞ったりしている。
ご家族が昼食時間におられるようであれば、一緒に食事ができるよう誘っている。「味がおいしい」と感想があるようだ。時には、ご家族も利用者と一緒に、しめじ裂き等の下ごしらえをしながらお話をされる。食事は、職員も利用者のとなりに座り、同じものを食べており、メニューを話題にして話したり、見守りや介助等している。調査訪問時、全員分の洗い物をしていただいている利用者の様子が見られた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム蘭

(ユニット名) 2棟

記入者(管理者)

氏名 谷本 茂樹

評価完了日 27年 11月 28日

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ・事業所の理念を暗記し、職員会や日々の業務の中で共有するように努めている。しかし、常に意識はしていますが、まだまだできていない部分がある	
			(外部評価) 目標達成計画に、「職員全員が理念を覚え、実践につなげる」ことを挙げて、一年を通して職員会議時に理念について話し合いを行った。運営推進会議時、事業所理念が話題になった際には、民生委員から「玄関先に掲示していることは知っているが、内容まではわからない。毎回会議議題に書いておくと良いですね」と感想があった。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) ・立地条件を活かして、小学校、保育園には年間を通して行事には招待をしていただき、芋掘り、節分、交流会に事業所に招待し交流を図っている。そして、公民館や地域の行事にも参加し、地域の方からも温かい声掛け、挨拶をしていただいている。	
			(外部評価) 事業所の近くには小学校や保育園があり、定期的な交流を継続している。保育園児とのさつま芋掘りの際には、園児が自宅に帰って芋ほりしたことを話せるよう、お芋をおみやげに持ち帰ってもらった。近隣に公民館があり、地域行事の予定等を知らせてくれる。地元スーパーや商店から食材の配達をしてもらっている。 管理者は、事業所や利用者のことを地域に発信するような取り組みができていないのではないかと感じている。運営推進会議等で地域の方達とも話し合い、地域のニーズ等も探りながら、事業所の専門性や有用性を活かした取り組みを一步すすめてほしい。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) ・ボランティアや施設見学の受け入れ、学校との交流会、地域の行事等に参加して、事業所力を見ていただき、認知症の人の理解を深めていただけるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・2ヶ月に1回、運営推進会議行い、活動・入所者状況を報告し、意見交換を行いサービスの向上に努めている。しかし、開設から運営推進委員の方達と10年、一緒に歩んできて、活発な意見は出て来なくなったのが現状だが、何か事には直ぐに助けていただいている。また、施設の行事にも参加していただいていることで外部からの目ということで職員の刺激になっていると思う。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は、ユニットごと1名ずつのご家族と、地域からは4名程参加して交流ルームで行っている。利用者は雰囲気を見て参加を遠慮されるようだ。活動報告等は、写真付きで資料を作成して報告している。参加者一人ひとりに意見を出してもらえよう、事業所側から問いかける等している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・高齢福祉課の方が推進委員なので事業所の実情や取組みも理解していただいていると思う。また、分からないことも相談しやすい。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護相談員の訪問が、2ヶ月に1回あり、利用者とお話をしてくれている。今後は家族会の折に、介護相談員に仲に入ってらってご家族の意見を引き出してもらいたいと考えていた。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・研修に参加し、身体拘束禁止の対象となる具体的な行為に関することはしていないようにしているが、どうしてもいけない時は職員の都合で外に出ないようお願いすることや、玄関の施錠を行ってしまったこともある。基本、昼間は玄関の施錠はしていない、夜間のみ施錠している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>身体拘束についての外部研修を受講した職員が、職員会議時に内容を報告して全職員で共有している。玄関は施錠せず、一人で出かけて行こうとする方があれば、室内からインターホンで玄関先の利用者の様子を見守ったり呼びかける等、工夫して対応している。車いすを自走して室内を移動する方は、食事が終わるとご自分のペースで移動していた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) ・身体的な虐待はないと思うが、言葉使いが悪いと思う時がある。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ・学ぶ機会はあるが、活用する場面がない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ・管理者や事務長が十分説明し、納得してもらっている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ・契約時に苦情等、第三者機関(市役所)の説明、玄関先の意見箱の説明を行い。運営推進会議、面会時などを利用して話を聞く様になっている。ご意見等があれば早急に対応している。 (外部評価) ご家族と利用者の絆を深めることを目的に、年2回家族会を行っており、12~13家族合計40名程の参加がある。時にはご家族から「手伝いましょうか」と声をかけてくれて、うどんやたこ焼き作りを手伝ってもらおうようなこともある。行事時の写真を載せた便りと共に、担当職員が毎月利用者の笑顔や「よいこと」を手紙にして送付している。担当は数回ごとに交代するため、ご家族はいろいろな職員の名での報告を受けることができる。交流ルームには職員の名前と顔写真を掲示してあった。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	<p>・施設長が日頃から聞いていただいているし、職員会には必ず聞いていただき、出来る事は改善していただいている。</p>	
			(外部評価)		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	<p>・施設長は働きやすい職場環境の整備に努めていただいている。しかし、個々の努力や実績、勤務態度までは把握されていないと思う。</p>	
			(外部評価)		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	<p>・研修を受ける機会を作っていただいているし、力量に合わせた(実践者・リーダー・管理者研修)に参加させてもらっている。</p>	
			(外部評価)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	<p>・相互研修や勉強会に積極的に参加している。職員も少しずつ向上している。</p>	
			(外部評価)		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	<p>・ご本人が入所に積極的ならご本人から聞き、そうでない場合はご家族や、ケアマネから情報を集め入所されても安心していただけるよう職員間で共有している。</p>	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ・ご本人、ご家族の方から生活歴など話を聞き、不安解消に務めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ・ご本人、ご家族や話し合って対応に努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) ・完璧ではないが、掃除・調理・草引き・収穫など、共にできることを助け合いながら行い、達成感を味わいながら関係を築き、和やかな生活が送れるように心掛けている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ・関係が途絶えないように、毎月の通信、面会時には日常の報告を行い、信頼関係を深めるようにしている。また、必要に応じてご家族に病院受診や行きつけの美容室などお願い事をしたりして、共にご本人を支えていく関係を築いている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) ・面会に来やすいように明るい挨拶やゆっくり話せるように雰囲気作りや場所を考慮している。面会等が遠方で来れない方もおられますので、関係が途切れないように電話を自由にしてもらったり、近況を報告するようにしている。また、ご家族の協力の下、行きつけの美容室に行っている。	
			(外部評価) 馴染みの人に会ったり、出かけるような場合は、ご家族が支援することが多い。他介護施設に入居しているご主人のお誕生日に会いに行けるよう支援したり、又、利用者ご本人の誕生日に、事業所に来てもらって一緒にお祝いできるよう支援している。得意なつくね芋作りに精を出す利用者があり、食事に採り入れたり、手みやげにして喜ばれている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ・ご利用者さんの出来ること、難しいこと、気の合う人、合わない人などを把握し、お互いが支えあえるように活動や作業を一緒にしていただきながら喜びや達成感を共有してもらっている。また、席の位置などにも配慮している。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) ・事業所としては入院された場合は面会し、ご家族の要望があれば相談に応じながら関係性を絶たない様に行っている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ・ご本人とご家族から生活歴や希望を聞き、集団生活という制限のある中で可能な限り希望に添える様に努めている。また、日々のケアの中で気付いたことを月2回のカンファレンスで職員全員でモニタリングして改善に努めている。 (外部評価) 職員会議で利用者の思いや意向について話し合い、担当職員が「利用者のつもり」になって、アセスメント表の「こんな介護をしてほしい」「私がやりたいこと」「私の不安や苦悩」「私の楽しみやうれしいこと」等の項目に沿った情報を記入している。	意思表示が難しい利用者についても、生活への意向を探っていくような取り組みが期待される。個々の生活歴や現在、今後の暮らし方の希望を知ることができるようなアセスメントに工夫して取り組んでほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ・入所時に本人、ご家族、他のサービス提供者などからの情報を把握し、不十分な所や情報と違っているところなどは、日々のケアの中で本人から聞いたり、随時、ご家族から聞き把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ・日々の表情や食欲、バイタルチェック、職員会などのカンファレンスなどで情報を交換し活動など支援しているが、心身の状態にも更に配慮していきたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・ご本人、ご家族に聞いたり、ご本人が上手く訴えられない場合は、日々の会話の中で情報を把握したり、センター方式、ICFモデルで課題を明確し、職員会で職員の意見交換を元に作成し、必要に応じて看護師、主治医の意見を聞きながら介護計画の参考にしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ご家族には来訪時に、ケアへの要望等について聞くようにしているが、意見が出るようなことはあまりないようだ。必要に応じて主治医のアドバイス等も計画に反映している。毎月の職員会議時に話し合い、モニタリングを行い、年1回介護計画見直し時に評価している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・個別の介護記録に記入し、申し送り、連絡帳、職員会で共有しながら介護計画の見直しに活かしている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・当事業所の特色でもある立地条件を活かし、近くの保育園、小学校との交流を行っている。個別では通院、散髪、ドライブ、買い物に行っている。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・Aコープ、保育園、小学校、公民館との交流を通じて豊かな暮らしを楽しむようにしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ・出来る範囲でご本人の希望を大切にしながら医療機関に受診し、看護師と相談し適切な医療を受けられるようにしている。	
			(外部評価) 看護職員を配置しており、利用者の体調変化やキズ等を発見した場合に相談して、必要があれば医師に連絡等してくれている。それぞれのかかりつけ医への受診は、ご家族や看護職員が付き添い支援している。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) ・毎日のバイタルサインや日常の関わりの中で、よく観察し些細な変化も看護師に相談し夜間も異常時は看護師と相談できる体制になっている。必要があれば看護師はかかりつけ医と相談している。	
			(外部評価)	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) ・利用者が入院した際、グループホームでの生活状況を詳細に伝え、安心して安全に治療に専念できるようにしている。また、面会等を通じ、ご利用者さんの安心、病院関係者との関係づくりに努めている。	
			(外部評価)	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) ・重度化や終末期(看取りケア)に向けた方針等は入所時に説明し、ご利用者さんご家族との信頼関係を築きながら、面会時に徐々に身体機能が低下することを伝え、終末期を意識した方針を決めてもらえる様、色々アドバイスしている。	
			(外部評価) 利用者の病状や状態によって、重度化した場合は、病院や他施設につなぐ支援をしている。ご家族には、事業所の緊急対応について説明して、延命治療の希望を聞き、同意をもらう取り組みを行った。さらに、今後は、重度化や終末期のあり方について、利用者の思いや意向を探ってほしい。利用者が事業所で最期まで自分らしく暮らせる支援の体制作りに向けた取り組みをすすめてはどうだろうか。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) ・年2回消防署の指導や外部研修を利用して定期的に訓練を行っているが、緊急時に対応できる自信はない。その為に、日々の状態を観察しながら心構えをし、主治医、看護師との協力体制に努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) ・定期的な避難訓練や年1回の消防署を迎えての訓練を行っている。運営推進委員にも協力をしていただいている。しかし、夜間を想定した避難訓練の頻度が少ないのが課題。また、原発災害時は宇和島のグループホーム「しおり」に非難することになっている。 (外部評価) 11月の「原子力総合防災訓練」時に、事業所でも訓練を実施した。運営推進会議と併せて避難訓練を行ったこともあり、災害発生時には、地域メンバーには利用者が避難した後の見守りをお願いしている。1月の会議時には、災害時に受け入れてくれることになっている事業所まで、メンバーと実際に行ってみることを計画している。開設時には、地域に向けて災害時交流ルームを開放することを伝えているが、今後さらに、地域との協力体制をより具体的にしたり、ご家族へも災害対策の取り組みについて報告してはどうだろうか。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) ・職員会での研修会や各研修会に参加し介護職員としての資質の向上に努めている。 (外部評価) 自立度の高い利用者が多く、職員は見守りや場面作りして、利用者をご自分で行うことをサポートしている。家事は、2種類を提案してどちらを行うか選んでもらうこともある。男性利用者と職員で「男子会」を作っており、年間を通して皆を楽しませるような企画をしている。初夏には蛍をとってきて交流ルームに放したり、クリスマスにはサンタクロースやトナカイ役になったり、ホワイトデーにはカレーを作って振舞ったりしている。利用者同士の関係性上、お互いのことが気になってしまうような時には、職員が仲に入るようにしており、ご家族にも対応策を説明している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ・限られた職員、時間の中、出来る限りの働きかけはしているが、職員の気持ちが優先されたりする場面もある。自己決定の難しくなってきた人には、その人の気持ちになって考えながら、安心した生活を送っていただけるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) ・出来る限りご利用者さんのペースを大切にし、一人ひとりの希望に添えるよう支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) ・自分で選ばれる方もおられるし、難しい方には一緒に選んだり、その方の気持ちになって考えたりして支援している。また、衣類の乱れや汚れ、髪、髭などさり気なく声を掛けたり直している。散髪は馴染みの店や、馴染みの髪型、施設カットにならないように、2か月に1回と必要に応じて出張美容に来ていただき、毛染めやパーマを楽しんでおられる方もある。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ・各利用者様の出来ることをしていただき、一緒に準備・片付けを行っています。また、畑で収穫した季節の野菜を使用したり、人のよっては食べやすいように、おにぎりや食べやすいサイズに、嫌いな食べ物しかない人には裏メニューを作ったりもします。同じテーブルで楽しみながら食事をしていただけるよう席にも配慮しています。	
			(外部評価) ご家族が昼食時間におられるようであれば、一緒に食事ができるよう誘っている。「味がおいしい」と感想があるようだ。時には、ご家族も利用者と一緒に、しめじ裂き等の下ごしらえをしながらお話をされる。食事は、職員も利用者のとなりに座り、同じものを食べており、メニューを話題にして話したり、見守りや介助等している。調査訪問時、全員分の洗い物をしてきている利用者の様子が見られた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) ・食事・水分量をチェックし、一人ひとりの状態や習慣に応じ量を変えている。また、食事以外でも、オヤツ時・外出からの帰所時・入浴後・ご本人の訴え時・明らかに水分が少ないと感じた時にも水分を摂っていただく様にはしています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) ・残渣物が多く残る利用者様には毎食後口腔ケアをしていますが、昔から朝はしないとか、昼はしないという方もおられるので、ご本人の希望や習慣に合わせて行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・ご自身で行かれない方は排泄チェック表、記録を活用して、排泄パターンやサインの把握に努め、さりげなく声をかけたり、トイレへ案内している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員会議時には、利用者個々の排泄状況については、ご家族の費用負担軽減も踏まえ、排泄用品の適切性についても話し合っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・便秘に良いと言われる食材を献立に入れたり、水分補給、運動に努めている。それでも改善できない方は、主治医、看護師に相談し、その人の排便習慣や腹部の張りを見ながら、腹部マッサージや主治医、看護師に相談して下剤で調整したり、浣腸をする場合もある。</p>	
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・基本、2日に1回だが入浴の好きな方、嫌いな方、その日の体調によって続けて入ったり、2日以上空いたり個人差はある。入浴の声掛けは気分よく入っていたるように心掛け、入浴時間、湯温、室温などをその方の好みに合わせて入浴を楽しんでもらっている。しかし、職員の配置の関係で寝る前、夜間の入浴は安全面を考慮して断っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>昼食後から夕食前までが入浴時間になっており、職員が利用者一人ひとりに声をかけて支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>・その日その人の状況、状態に合わせて休憩をしてもらったり、どうしても眠れない方は眠たくなるまでリビングで過ごしてもらったりもしているが、全体的に休んでいただく時間が早くなったように思う。職員の都合になってきているのでは？</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ・理解、確認に努めているが、容量、副作用など覚えきれないので、内服薬のファイルを個別に作成し、いつでも確認出来るようにしている。変更があればファイルや申し送り、連絡帳で共有している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ・調理、洗濯、炊事、畑仕事など一人ひとりの得意な事、出来る事で役割をつくり、日中は散歩、買い物、外出行事など気分転換等の支援を行っているが、更にバリエーションを増やしていきたい。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) ・その方の、どんな希望かにもよるが、勤務人数やその時の状況に余裕があれば希望に添う様に努めている。また、ご家族の力を借りれる時はお願いしている。しかし、一人ひとりの、その日の急な希望を叶えるのはかなり難しいが、天気の良い日には外に出られるよう努めている。 (外部評価) 外出を好む方が多く、最近では、イルミネーションを楽しみに夜間外出した。居室に花がないと、利用者の方から外に「花を摘みに行こう」と誘ったり、春には「お花見に行こう」と希望があり出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ・ご利用者さんに応じたお金の管理、買い物時の支払い等が出来るよう支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ・ご本人の希望があり、ご家族や大切な方が了解していただけるなら、いつでも連絡が出来るよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ・いつも清潔には気を配っているが、ご利用者さんがよく使用されているトイレが汚れていて何回かご利用者さんから指摘されてしまったことがある。季節の花や果物で季節を感じてもらいながら温度計や体感で冷暖房だけに頼らず自然の風や扇風機などでも温度調節を行っている。	
			(外部評価) 流し台が台所内と居間側にあり、利用者が食事作りや後片付けがしやすい造りになっている。掃き出し窓からテラスに出て菜園の様子を見ることができる。窓がとなりの保育園の園庭と同じ高さで、子ども達が遊んでいる様子が眺められる。中庭側の窓から入る光はカーテンで調節をしている。畳の間には雑誌や新聞が用意されており、洗濯物をたたんだりおしゃべりを楽しむスペースになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ・テレビ前のソファやリビング、談話室でくつろいだり、話をしたり、気の合う方は各居室で話もされたりしています。また、隣の棟にも遊びに行かれる方もあります。	
			(外部評価)	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ・ご本人が使いやすい家具、ベッドの位置、畳を敷かれている方も、そして、思い出の写真、趣味の作品や花を飾られていたり、家から位牌を持ってこられている方もある。	
			(外部評価) 日中時々居室で過ごすような方には、暖房を入れていつでもあたたかい部屋で過ごせるようにしていた。器に水をいれてベッドの下に置いて、湿度に配慮しているところもあった。ご家族が持って来られる新聞の切り抜きをスクラップブックに貼ることを続けている方がいる。夜間、職員を呼べるよう枕元にコールブザーを置いている方がいる。衣服には個々に名前を書き、間違ふことのないように気を付けている。時には他利用者の洗濯物をたたんで居室にしまってくれる利用者もあるようだ。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ・ご利用者さんのことを考え、ご本人やご家族、職員とで相談しながらご利用者さんの安全で自立した生活が送れるよう環境作りに努めている。	
			(外部評価)	